

4 議事録

- 教育部長 おはようございます。
それでは、ただいまから令和3年第10回始良市教育委員会定例会を開催いたします。本日の議案は、報告1件となっておりますので、委員の皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。
これ以降の議事進行につきましては、小倉教育長にお願いいたします。
- 教育長 それでは会議に入ります。本会議は、公開を原則としておりますが、本日の会議を公開することにご異議ございませんでしょうか。
- 全員 はい。
- 教育長 異議なしと認めます。よって、本日の会議は公開することとします。
まず日程第1「議事録の承認・署名」についてであります。皆さん前回会議の議事録の承認・署名は、お済みでしょうか。
- 全員 はい。
- 教育長 それでは、前回議事録は承認されたものと認めます。
次に日程第2「委員及び教育長の報告」についてであります。委員の皆様方から、何かご報告はございますでしょうか。
- 委員 はい、おはようございます。9月に小中学校の体育大会・運動会が開催されました。各学校それぞれ工夫されたもので、コロナ対策はもちろん、保護者対応なども工夫されていたようです。私が特に印象に残ったのは、永原小のオープニングで披露された全校生による吉左右踊り・太鼓踊りでした。コロナ対応しながら地区の保存会の方々の協力を得て、全員参加の通し練習も3回程されたそうです。
また先日、南日本新聞に始良市の小規模校での運動会についても掲載されておりました。コロナ下でも地区の方々との交流をしており、そういうつながりが子どもたちにとっても良かったのではないかと思います。以上です。
- 教育長 ほかにありませんか。なければ、私の方から申し上げます。
今、岩元委員からありましたように、9月に、中学校、小規模校の小学校、そのほかの小学校、それから幼稚園、4回にわたって委員の皆様方にはお休みのところ、それぞれ観戦にお出かけいただきましてありがとうございました。またそれぞれ応援していただき本当にありがとうございます。

今年もどこの中学校、小学校もいわゆる半日開催でした。これは半日と決めただけではありませんけれども、だいたい校長会で申し合わせて半日開催としていました。様々な工夫を凝らしていたようでございます。大規模校では学校によっては、プログラムを低学年・中学年・高学年と3段階に分けて、低学年が終わったらクラスに帰るといったような工夫をしていました。そして、岩元委員からありました小規模校は、吉左右踊りや漆バラ踊りなど地域の伝統文化を取り入れて、冒頭あるいは合間に入れる工夫をしていたようでございます。

午前中開催とのことですが、私は運動会・体育祭というのは、本来なら親子で弁当を囲んでご飯を食べるのがよいと話をしているわけです。どこの学校もそれは叶いませんでしたけれども、来年以降は通常に戻ることを期待します。

そういうことでコロナも日本全体で、だんだん収束していけばいいと思います。東京都は50人割ったり、昨日は79人でしたね。始良市はゼロが2、3日続いたり、昨日は5人ぐらい出ていましたね。こういう状況になってきております。

しかし、識者は2月頃から第6波が来るという予測を立てておりますので、それに備えて学校では、感染症対策を徹底してやっていかなければならないと思っているところでございます。

それでは、次に日程第3に入っていきます。今日は報告が1件だけということです。日程第3、報告第11号「令和2年度始良市一般会計歳入歳出決算認定（教育費）に関する件」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

事務局

（教育総務課長）資料1ページ、日程第3、報告第11号「令和2年度始良市一般会計歳入歳出決算認定（教育費）に関する件」についてご説明いたします。

令和2年度決算につきましては、第3回市議会定例会において審査を受けましたので、報告させていただきます。資料は2ページからでございます。

まず、始良市全体の決算についてご説明いたします。

2～5ページが歳入となっております。まず4・5ページをお開きください。一番下の行、歳入合計をご覧ください。4ページの予算現額435億6万2千円に対しまして、5ページの収入済額425億7,114万519円となっております。前年に比べますと85億程予算額が増えたことになっております。これにつきましては、昨年はコロナウイルス感染症にかかる特別給付金、約77億9千万円、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金、約8億9千万円、国庫支出金として歳入があったことによるものでございます。

続きまして歳出になります。資料は6～9ページになります。

8・9ページの一番下、歳出合計をご覧ください。8ページの予算現額435

億6万2千円に対しまして、9ページの支出済額418億1,549万4,866円が市全体の決算額となっております。

この中で教育費につきましては、一番上の教育費の欄をご覧ください。教育総務費から保健体育費までございますが、一番上の行が合計となっております。

令和2年度決算における教育部所管の予算現額につきましては、33億488万7千円に対しまして、支出済額が31億1,421万7,472円となっております。また翌年度繰越額としましてGIGAスクール事業費、新型コロナウイルス感染症対策備品等の購入費などの繰越明許費5,535万8千円を繰越しております。繰越金を除きまして96%の執行率となっております。

これから以下10～41ページまで決算書の教育費部分を掲載しております。こちらについては細かい数字ですのでお目通しいただければと思います。事業内容につきましては、別冊でお配りしております「令和2年度 決算に係る主要な施策の成果報告書」という冊子でご説明いたしたいと思います。事業ごとに事業の概要、事業の実績及び成果を記載したものでございます。令和2年度事業につきましては、外部評価等で内容については十分ご承知と思っておりますが、こちらの資料を基に再度説明いたしたいと思います。課ごとに説明をいたしますので、資料が前後することもございますけれども、よろしく願いいたします。

それでは、まず教育総務課でございます。

報告書1ページ、教育委員会費でございます。教育委員会関係経費では、毎月の定例会及び2回の臨時会を開催、委員の皆様には13件の報告の承認と、条例・規則等制定・改廃案件16件のほか計43件の議案を議決いただいております。

続きまして教育総務事務局費でございます。

総務課関係事務局経費では、教育委員会任用の会計年度任用職員の適正な配置を行っております。その他、外部評価委員会を2回開催し報告書を作成のうえ議会への報告とホームページで公表を行っております。また、教育行政要覧を作成し関係機関へ配付しております。

続きまして特認校・スクールバス運行関係経費です。市で所有いたします4台のスクールバスの維持管理と北山小ほかのスクールバス、スクールタクシーの民間委託を行いまして、安全な子どもたちの送迎を実施しました。学校施設長寿命化計画策定事業です。始良市学校施設等長寿命化計画を策定しております。今後の施設改修の指針としてまいります。

報告書6ページをご覧ください。

教職員住宅管理費でございます。教職員住宅維持管理事業では、シロアリ防除、樹木剪定、修繕等を行いまして、住宅の適切な維持管理に努めています。

また、老朽化しました始良小校長住宅・重富中校長住宅・山田中校長住宅の3棟を解体しております。

続きまして学校管理費に入ります。

小学校維持管理事業です。会計年度任用職員として用務員15名、司書補15名を任用しております。また、児童数や学校の要望に沿った予算を学校予算として配当しました。特に令和2年度は、空調機の設置によるフィルター清掃業務委託、コロナウイルス感染症の消毒作業委託を行っております。

次に小学校備品等整備事業です。劣化や破損の状況により机・椅子の入替えを、重富小・始良小・西始良小に行っております。そのほか、学校の要望、優先順位に基づき備品購入を行っております。

小学校施設整備事業です。帖佐小学校2号棟校舎屋上、西浦小学校校舎庇の防水工事のほか、台風被害による始良小学校1号棟屋上、西始良小学校3号棟の屋上防水工事を行いました。

また、コロナウイルス感染症対策としまして、手洗い器の不足する帖佐小学校と建昌小学校にレバー式の手洗器の設置、松原なぎさ小学校を除く洋式トイレの不足する小学校にトイレ洋式化工事を行っております。

報告書8ページをお願いいたします。学校管理費の欄になります。

中学校維持管理事業です。会計年度任用職員としまして用務員7名、司書補5名を任用しております。生徒数や学校の要望に添った予算を学校予算として配当しております。また、小学校費と同様に空調機のフィルター清掃業務委託、コロナウイルス感染症の消毒作業委託を行っております。

次に中学校備品等整備事業です。劣化や破損の状況によりまして、机・椅子の入替えを帖佐中・重富中に行っております。その他、学校の要望、優先順位に基づきまして備品購入を行っております。

中学校施設整備事業におきましては、蒲生中学校2号棟校舎屋上防水工事を実施しております。また、コロナウイルス感染症対策として、全ての中学校のトイレの洋式化工事を行いました。

報告書10ページです。幼稚園管理費になります。

幼稚園維持管理事業では、会計年度任用職員として園長4名、講師3名、補助21名を任用しております。小中学校と同様に、幼稚園の園児数や幼稚園の要望に添った予算を幼稚園予算として配当しました。

教育総務課は以上でございます。

(学校教育課長) 学校教育課の令和2年度の成果の概略を説明させていただきます。

本課では、始良市子育て基本条例をもとに「子どもたちの自立を目指し協働で関わる」ことをキーワードに各事業を推進してまいりました。

説明につきましては、資料の該当ページを基に進めさせていただきます。

資料2 ページからの学校教育事務局費は、教員等の研修に係る講師謝金や補助金の交付、外国語指導助手の派遣など、学校教育の充実を図りました。特別な配慮を要する子どもにつきましては、特別支援教育の充実のための特別支援教育支援員の配置増により児童生徒の学校生活を支援いたしました。3 ページの児童生徒の道德性の向上を目指すモラリティ・インクルーブメント推進事業に係る実践発表では、学校・家庭・地域が一体となった児童の道德性を高める取組が紹介され、ハートフルあいらんどという企画においては青少年のスピーチ大会が開催され、子育て基本条例を具体化するものとなりました。

同じく3 ページのスーパーサイエンス総合推進事業では、科学実験イベント「サイエンスあいらんど」を開催し、科学分野の講話や学校の先生方による実験教室を企画いたしまして、児童・生徒の科学への興味・関心を高めることができました。

4 ページの児童生徒総合支援事業におきましては、いじめ重大事態に対するいじめ対策専門委員会の関係、不登校児童生徒のための適応指導教室の運営、事件事故が生じた時の緊急カウンセリング対応、スクールソーシャルワーカーの派遣などを行い、落ち着いた学校環境づくりに努めました。

同じく4 ページの学力向上キャリア教育推進事業におきましては、キャリア教育の推進、小中学校ブロックにおける学力向上アクションプラン、研究指定校事業などを行いました。これらの事業の成果としましては、各小中学校では学習活動の充実が図られ、学力においては全国・県の平均を上回る結果を収めることができいております。

5 ページ、6 ページの公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業は、G I G Aスクール構想に伴うもので、市内の小中学校 22 校にW i - F i 環境を整備するL A N工事と、児童生徒一人1 台のタブレット端末を活用するために分散して充電できるタイマーを備えた充電保管庫を各教室に設置しました。

同じく5 ページのスクール・サポート・スタッフ配置事業は、県からの委託事業です。主に教員への業務支援を図り、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的としています。当初の始良小学校の2 名配置に加え、10 月からは新型コロナ対策として8 小中学校へ各1 名配置しました。

5 ページの公立学校情報機器整備事業はG I G Aスクール構想に伴うもので、児童生徒一人1 台のタブレット端末を7,084 台購入しました。また、同事業のギガスクールサポーター配置業務により既存の学習用タブレットを教員用に設定変更や、教員向けの操作研修等を行いました。なお、執行残の320 万1 千円を令和3 年度へ繰り越し、60 台のタブレット端末を追加しております。

次に6ページ、7ページの教育振興費につきましては、小学校における教材備品・消耗品の購入、教育用パソコン・校外学習用バスの借上げ、宿泊学習の補助、小学校外国語活動協力員の配置、就学援助費の支給などにより、小学生の学習環境の整備と学習の支援を行いました。

8ページ、9ページからの教育振興費は、中学校における教材備品・消耗品の購入、教育用パソコンの借上げ、就学援助費の支給などにより、中学生の学習環境の整備と学習の支援を行いました。

7ページの小学校修学旅行バス補助事業、9ページの中学校修学旅行バス補助事業につきましては、修学旅行の実施における感染症対策として、バスを追加したり、大型バスへの変更などを行った小中学校へバス追加補助金を支給しました。

10ページの教育振興費につきましては、幼稚園教育の振興と幼稚園の就園を奨励するための補助金交付事業になります。令和元年10月から保育料の無償化が始まっており、私立幼稚園に対して園児一人当たり上限月額25,700円の子育てのための施設利用給付交付金等を交付し、保護者の経済的負担の軽減に寄与いたしました。

以上で、学校教育課の成果報告概要説明を終わります。

(社会教育課長) 社会教育課です。11ページからになります。

社会教育総務一般管理費は、社会教育指導員、社会教育委員の報酬や活動経費、社会教育関係団体への負担金・補助金交付等、運営サポートを行いました。

青少年育成事業は、青少年の自主性や協調性、社会性を培う機会を提供する事業として、ふるさと学寮、ふるさとチャレンジャー、ムーミン講座の実施、青少年育成市民会議の開催・運営、ジュニア・リーダークラブの育成に取り組みました。

社会教育推進事業は、成人の社会教育力を向上させるために、家庭教育学級の開設、SSVC+事業、子育て手帳の改訂、成人学級の開設、成人式の実施に取り組みました。

あいら未来特使団事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら中止となっております。

続きまして12ページになります。

芸術文化振興事業は、小学校での青少年劇場や訪問演奏会の開催、始良10号美術展や市文化芸術祭の実施、市立少年少女合唱団の育成に取り組みました。

生涯学習推進事業は、市全体での生涯学習推進体制の構築に取り組むための市生涯学習推進会議の開催、市生涯学習フェアを開催いたしました。

続きまして公民館費になります。

公民館維持管理事業は、公民館運営審議会の開催と、計画に基づきました修繕や緊急的な修繕に対応するなど、施設設備の維持管理に取り組み、利用者の利便性や快適性を高められるよう努めました。

生涯学習講座実施事業は、始良公民館をはじめとした加音ホール等の各施設での生涯学習講座の開設を行いまして、生涯学習の機会の提供に努めました。続きまして 14 ページになります。文化財費です。

文化財保護管理事業は、市内の文化財の保存管理に努めるとともに、郷土芸能の運営・継承を支援するため、補助金を交付いたしました。保存整備では、台風により表土が崩落した天福寺磨崖仏につきまして、復旧修繕を実施いたしました。

次に 15 ページでございます。埋蔵文化財発掘調査事業は、県のは場整備事業に伴う住吉地区の前田遺跡発掘調査を実施しました。遺跡からは、縄文時代中期のドングリ貯蔵穴群を検出しまして、また県内初となる編み籠などが出土いたしました。

遺跡詳細分布調査事業は、開発に伴う周知の埋蔵文化財包蔵地の照会に対応しまして、公共事業・民間開発事業など開発に伴う緊急確認調査を実施しました。

始良市誌史料集刊行事業は、始良市誌の基礎資料として活用される「始良市誌史料集九」（蒲生御仮屋文書編）を刊行しました。

蒲生のクス保護増殖事業は、平成 29 年度から継続しておりまして、検討委員会を 2 回開催し、事業内容の協議・計画決定を行い、事業を進めました。令和 2 年度につきましては、クス南側踏圧防止板の新設（第Ⅱ期）及び土壌改良を実施いたしました。

続きまして 16 ページ社会教育施設費になります。

歴史民俗資料館、加治木郷土館、蒲生ふるさと交流館、椋鳩十文学記念館、北山野外研修センター、龍門陶芸・健康の里、天文台施設等の施設の維持管理を行いました。それぞれ企画展及び展示を計画したりして活用増進に努めました。以上でございます。

（図書館事務局長）図書館事務局です。資料の 13 ページになります。

図書館活性化事業は、令和 2 年度は年度初めに 16 日間の臨時休館としたほか、研修室、閲覧席の利用制限を行いながらの運営となりました。

全体の利用状況は前年比マイナスですが、移動図書館車と地区公民館図書室の利用は増加となりました。

行事・イベントの実施については、定期的な映画会の開催やふれあいプラザの利用、各種講座や講演会、図書館フェスティバル等、感染症対策を講じながら、人数制限や開催時期の変更を行い、事業を実施しました。

中央図書館維持管理事業と 14 ページの加治木図書館維持管理事業は、それ

ぞれ施設の維持管理に係る経費であり、安定的な施設運営が図られるよう取り組みました。

14 ページの視聴覚教育振興事業は、視聴覚機材・DVD等の貸出しを行いまして、社会教育や学校教育での活用促進を図りました。

図書館整備事業は、老朽化していた移動図書館車の買替えを行いまして、図書サービスの利用向上を図りました。

以上で説明を終わります。

(保健体育課長) 保健体育課の決算成果報告をいたします。

まず保健体育総務費になります。17 ページをご覧ください。

保健体育総務一般管理費では、始良市体育協会と市レクリエーション協会に補助金を交付し、加盟団体の競技力向上や活動の充実を図りました。

次に18 ページをご覧ください。生涯スポーツ推進事業です。

まず、スポーツ推進委員に関することですが、38 名の推進委員が各種スポーツイベントにおける役員や運営補助員として活動し、円滑な運営に寄与されています。

各種スポーツ大会等に関することでは、18 ページの一番最後から19 ページになります。コロナ下において、ほとんどの事業が中止せざるを得なかった中、第5回校区対抗スポーツ大会では、生涯スポーツ市民講座の一環として、3月14日にグラウンドゴルフとペタンクを実施し、198名の参加をいただきました。

20 ページをお開きください。全国大会等出場奨励金につきましては、多くの全国大会が中止となったことにより、延べ30人に対して22万3千円の奨励金の交付を行いました。

次に体育施設費になります。21 ページをお開きください。

21 ページから23 ページにかけて、市内の社会体育施設のうち、始良市総合運動公園、蒲生体育館、始良体育センターや加治木・蒲生弓道場など7つの施設については、指定管理者のノウハウを活用した運営や施設・設備の修繕や計画的な更新によって、安全な利用環境を確保し、施設の利用促進を図ったところでございます。特に新型コロナウイルス感染対策には細心の注意を払い、検温、消毒などを徹底し安全に施設の利用をしていただけるよう施設の運営を行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により体育施設利用者が対前年度10%から25%程減少しています。

また、23 ページの体育施設備品購入事業では、始良市総合運動公園体育館のほか3つの体育館に室内の換気対策、熱中症対策のための大型工場扇を購入し配置しました。

次に学校保健費 になります。24 ページをご覧ください。

学校医等報酬関係経費と学校検診事業では、学校保健安全法に基づき、各学校に校医を配置し、児童生徒に対する定期健診の実施による疾病対策を図るとともに、労働安全衛生法の規定による産業医を配置することで、教職員の疾病予防にも努めました。

25 ページをお開きください。就学時健康診査事業においては、小学校就学予定者 780 人に対し健康診断に基づく指導や、就学を控えた保護者からの相談に対して、適切な助言を行いました。

スクールガードリーダー配置事業では、学校及び通学路等における安全確保のために委嘱した警察官OBの4名のスクールガードリーダーによって、各担当校区での見守りや安全点検、また交通教室において安全指導が実施されるなど、学校や地域の安心につながっております。

全国的にも児童生徒に関連する事件や事故が後を絶たないことから、引き続き、関係者の協力を得ながら安全対策を推進してまいります。

26 ページをご覧ください。新型コロナウイルス感染症対策事業では、国の補助金の活用により、学校における集団感染リスクを避けるため感染症対策に必要な消耗品や備品として非接触型体温計や加湿空気清浄機など学校の状況に応じて備品を購入しました。

なお、執行残のうち 1,271 万 3 千円につきましては、国の3次補正に伴い、3月補正を行いまして令和3年度へ繰越ししております。

続きまして 27 ページをお開きください。学校体育費になります。

学校体育推進事業では、体力向上のための取組の一環として、小学5・6年生を対象とした陸上記録会を開催しました。また、教職員（体育主任）に対しましては、体力・気力アップ始良っ子育成研修会や体育主任研修会などの実施により、職員の資質向上を図りました。

体育連携推進事業では、令和2年12月に陸上競技の競技力向上のため指導者研修会と中高生実技指導講習会を開催しました。短距離部門では、鹿児島陸上競技協会の新開監督と南九州ファミリーマート所属で東京オリンピック陸上400メートルリレーの選手の鶴田玲美選手に、長距離部門では第一工業大学の岩元監督及び大学生により指導をいただきました。始良市内から参加された小中高校生とその指導者を含む計106名に対して、充実した内容の講義や実技指導が実施され、大変好評でありました。

続きまして学校給食費になります。27 ページをご覧ください。

学校給食一般管理費では、重富小、蒲生小、蒲生中の牛乳保管庫の更新のほか、新型コロナウイルス感染症対策に伴う学校給食休止に係る納入業者への補償費を支払いました。

28 ページをご覧ください。食育推進事業では、食育推進校に指定された帖佐幼稚園、三船小学校及び山田中学校での1年間の取組を発表する食育講演会や、給食調理関係者を対象としたスキルアップ研修会などを実施しました。

次に、28 ページから 30 ページの学校給食施設ごとの事業、自校方式から蒲生学校給食センター維持管理事業までですが、それぞれの施設では、調理員の健康管理をはじめ、調理場や器具類の衛生検査による安全の確保を講じており、特に自校方式の給食室では、パッケージエアコンの設置により長年の懸案事項でありました高温多湿であった給食室の環境の改善が図られました。

なお、蒲生給食センターの執行残のうち 1,980 万円は、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金により 12 月補正をしたものでございますが、工期を夏休み期間しか確保できないことから令和 3 年度へ繰越しをしたもので、8 月末に工事は完了しております。以上で、保健体育課の報告を終わります。

(国体推進課長) 資料の 30 ページをお開きください。

現年度分の国体準備関連事業では、令和 2 年 10 月に開催される予定であった「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に向けて準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い令和 5 年(2023 年)に延期されたことから、人件費分のみの支出となっております。

なお、実行委員会においては、延期に伴い令和 5 年開催に向けた広報 PR 活動を行っております。

繰越明許費分の国体準備関連事業では、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会に向けて、国体の開催会場となる始良市総合運動公園体育館に空調施設の設置及び蒲生体育館の駐車場の増設工事を実施いたしました。

以上で、国体推進課の報告を終わります。

教育長

全ての決算の成果報告の説明が終わりました。

7 月・8 月にかけて外部評価をしていただきました。その中でお気づきになった点などがあれば、そういったものも含めてご質疑いただければと思います。何かご質疑ございませんでしょうか。

委員

報告書 6 ページ、学校管理費の会計年度任用職員として用務員 15 名、司書補 15 名のところですが、小学校は 17 校で司書補がないのは漆小と西浦小ですが、用務員 15 名とは、用務員がいらっしゃらない 2 校ほどこの学校でしょうか。

事務局

(教育総務課長)こちらにつきましては、正規職員が配置されておりますので、用務員がない学校はありません。大きな学校については、用務員が 2 名配置されていたりしますので人数が学校数とは合わないかたちになります。

委員

分かりました。

それから資料の 25 ページ負担金・補助金のところですが、少年少女合唱団負担金 10,000 円とありますが、こちらには補助金というのはいないのですか。

事務局 (社会教育課長) こちらは、補助金はないです。

委員 少年少女合唱団の募集のところに年会費が 5,000 円とありました。結構大きな額だと思ったのですが、このことで合唱団の団員数が少ないということで、もっと入ってくださればいいなと思うところです。この 5,000 円というのがネックになっているのかなと思えば、補助金があるといいなと思ってお聞きしました。補助金が出ていると思っていたのですが、なかったのですね。

事務局 (社会教育課長) こちらが市の直営の団体ですので補助金はありません。報償費は市の方がお支払いしております。

委員 それでは合唱団の子どもさん達にとっては、そんなに負担はないのですね。

事務局 (社会教育課長) 年会費の 5,000 円だけです。

委員 分かりました。
続けて 29 ページの図書館費の委託料の中にダムウェーター保守管理委託料というのがあります。「ダムウェーター」というのはどういう言葉なのかと調べたのですが、小荷物専用昇降機、小さい昇降機のことを指すとありました。その中で気になる記事として、「ダムウェーター」という言葉は、少し差別用語の意味があるとして建築基準法上では 2000 年 6 月に、「ダムウェーター」という言葉は使わずに小荷物専用昇降機と明記されているとありました。そういったことが書いてあったので、その表記が気になることはありませんでした。昇降機メーカーでも「ダムウェーター」という言葉が残っていたり、図面や打合せでも通じることが多いため、口にすることはあるけれども、差別用語として捉えられてしまうことがあることを知っていた方がよいということでした。

教育長 これは、商品名ですか。それともそういう昇降機の総称をダムウェーターというのですか。

事務局 (図書館事務局長) 資料を 2 階に上げるための小さな昇降機ですが、表記につきましては、私も存じ上げないことでした。表記については検討します。

委員 たまたまどういう言葉なのか調べたら、こういうことが出てきたので検討していただけたらと思います。

教育長 ありがとうございます。

委員 次に、41 ページの食材のキャンセルのことで、成果報告書の方は「学校給食休止に係る納入業者への補償費」と表記してありまして、こちらの定例会中の資料では、「キャンセルに係る違約金」として表現されていました。どちらもキャンセルした時に支払うということでしょうけれども、このように違う表記をした方がよかったですでしょうか。

事務局 (保健体育課長) 予算現額区分の中で、補償、補填及び賠償金というのがあります。詳しい内容としまして食材のキャンセルに係る違約金、それが補償費というものにあたることで、その中で分かりやすくそういった言葉を使ったところでございます。

委員 分かりました。ありがとうございます。
以上です。

教育長 ほかにございませんか。

委員 改めてこうやって全事業の決算を聞いていますと、始良市の教育委員会がやっている様々な事業が多いことがわかりまして、各課それぞれ日々一生懸命取り組んでいるいらっしゃるということがよくわかりました。本当に頭が下がる思いでございます。コロナ下ではありますけれども、これからもまたいろいろな事業がどうにか実施できて市民の方々にいい事業だったと言われるようによろしくお願いいたします。
それから保健体育課に質問ですが、給食室のパッケージエアコンというのは普通のエアコンとどういうふうに違いますか。

事務局 (保健体育課長) 通常のエアコンですけれども、通常エアコンを設置する場合は工事費がかかりますが、今回予算的なこともありまして5年間のリースでお支払いするということでしたので、パッケージエアコンということで計上させていただいております。

委員 分かりました。

教育長 自校方式は、近い将来はセンター化していきます。恒久的なものを付けるの

ではなく、一時的なエアコンです。ものすごく辞める調理員が多くて、1年間に15人辞めました。給食室の中は大変に暑いので、一時的にエアコンを入れていきます。

ほかにございませんか。

委員 移動図書館車を買換えましたが、稼働状況、週何回とか、どういったところを回っているとかお尋ねします。

事務局 (図書館事務局長)火・水・木・金、週4回、基本的に山間部を中心に学校などを回っております。

委員 山間部と言いますと、学校以外ではどういったところに行かれるのですか。

事務局 (図書館事務局長)例えば、蒲生のくすくす館や施設、病院のデイケアといった所に行きます。

委員 ありがとうございます。

教育長 なかなか足を運びにくい地理的な所に行っています。

委員 病院とかは、希望を出されているのですか。

事務局 (図書館事務局長)そうですね。希望があって、現在のコースに加えられるときには、追加しています。

教育長 図書館移動車は何台も回っているわけではないのですので、近場の所からも要望があったりするのですが、そういう場合には、図書館に来てくださいとお願いします。

ほかには質疑がなければ、これで質疑を終わりにいたします。それではお諮りします。

報告第11号「令和2年度始良市一般会計歳入歳出決算認定(教育費)に関する件」は事務局の報告のとおりご了承いただけましたでしょうか。

全員 はい。

教育長 異議なしと認めます。よって報告第11号については承認されました。次に日程第4、事務連絡になります。委員の皆様から何か事務連絡はございますか。なければ事務局からお願いします。

事務局 (図書館事務局長) 図書館事務局です。先にお配りしています図書館フェスティバルについてお知らせしたいと思います。

11月3日(水)に開催いたしますので、チラシをご覧ください。

いろいろな催しを計画しております。スライムアクアリウムや松ぼっくりツリー作り、ボランティアグループあいあいによるおはなし会、ビブリオバトル、榎木春幸氏による講演会など、今年も盛りだくさんの内容で開催いたします。この裏面には、イベントごとのタイムスケジュール等を載せていますので、そちらを参考としていただければと思います。

来館者にはマスクの着用や手指消毒や体温測定、イベントによりましては事前申込み制や人数制限を行いまして、感染予防対策を講じながら実施いたします。なお、事前申込みの図書館講演会につきましては、まだ十分空きがございますので、もしお時間よろしければぜひ会場に足をお運びいただければと思います。以上、お知らせでした。

教育長 ほかにございませんか。なければ最後に行事予定の確認を行います。

事務局 (各課より順次説明)

教育長 行事予定の説明がございましたが、皆様方からご質問ございませんでしょうか。

教育長 なければ、以上で本日の議事を全て終了したいと思います。お諮りします。本日の議事録の字句の軽微な訂正等は、事務局に一任していただきたいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

全員 はい。

教育長 異議なしと認めます。よって、議事録の字句の軽微な訂正等は、事務局にご一任いただきました。以上で、令和3年第10回教育委員会定例会を終了いたします。皆さまご苦労様でした。

全員 ありがとうございます。